

令和2年度寒川町社会教育委員会議第2回図書館部会 意見報告書

第2回図書館部会が書面開催のため、郵送等で意見報告書を提出いただきました。

【報告事項】

令和2年度図書館事業実績、予定（10月～12月）について

- 事業の実施が難しい中、工夫して開催、受け入れをしていただけて、とてもよかったですと思います。

【協議事項】 町民の学びを支える図書館のあり方について

① コロナ禍における図書館サービスの工夫

- 読み聞かせを屋外で行う（図書館の屋上や中央公園等）
- 昨年、図書館が再開した当初、椅子が片付けられていて、借りることはできても、その場で本を開いたり腰かけたりして過ごすことができなかつたのが、一番淋しかった。利用者がすべきこと（マスク、手指消毒、ソーシャルディスタンス等）を促し、館ですべきこと（換気、消毒、カーテン等）を守って通常に近い形で続けてほしい。

② 子どもの時期からの読書の習慣付けを図る取組

- 既に十分な事業が実施されていると思います。ただ、コロナ禍で、人が集まることができないため、一つの事業について参加人数が限られてしまい残念です。このような中でも多くの人に図書館の事業に参加して頂くためには、図書館に行かずに図書館の事業に参加することができるようにしていかなければいけないと思います。ZOOM等で参加したり、動画を配信することにより、自宅で参加できるしくみを作っていかなければいけないのではないのでしょうか。
- 検診の際に、年代に合う本の紹介や図書館利用の案内。小児科、耳鼻科などへ月齢向けの本のコーナー（本の紹介等）設置など。小学校の図書室と連携した本のPR等。
- 寒川では、①ブックスタート（7カ月児・健康管理センター・町募集ボランティア）、②おひざにだっこのおはなし会（赤ちゃん・総合図書館・職員）、③おはなし会（未就学児・総合図書館・職員、図書館募集ボランティア）、③-a おはなし図書館と夏休み企画（北部公民館・北部ボランティア）、③-b おはなし広場と夏休み企画（南部公民館・南部ボランティア）、④小学校（各小学校・保護者、経験者、OBボランティア）と、0歳から小学生まで読み聞かせに触れる機会ができています。特に①のブックスタートのボランティアが②のおひざにだっこのおはなし会を勧める努力が必要。②→③へは、図書館職員が担当なので促しやすいと思う。

- 寒川町内で活動する読み聞かせボランティアを町に登録し、活動の希望も把握する。小学校については「最寄りの小学校だけ」とか「おはなし会だけ」とか「どの小学校でも可」とか。小学校の読み聞かせは、保護者は基本的に自分の子のクラスあるいは学年で読みたいと考えているが、それ以外のボランティアは自分の住む地域の小学校でならやってもよいと考えている人と、本が読めるなら、手が足りないなら、どこでも行きます！と考えている人がいると思う。今後、読み聞かせが再開する時に、読み手が多く集まったクラスと1人、2人くらいで少ないクラスがあって、スタートに差がでないように動けるボランティアを入れて、一斉に始められるようにしてほしい。クラスの保護者だけで頑張りすぎないでほしい。周りに応援したいおばちゃん達はたくさんいます。ただ、保護者ではないボランティアを受け入れる小学校側の不安のために、ボランティア登録という身分証明が必要と思います。

③図書館（室）に対する認識の固定化を改善する取組

- 南北の分室は昔から変わらず、少し暗い感じがするため、明るい感じに変えてみては。
- 総合図書館で借りた本を最寄りの北部で返却することはしているが、北部で検索して取り寄せはやったことがない。オンライン化されているのは理解しているのだが、実際に新しい情報や本を目にしたたり手にとれるチャンスがあるのは圧倒的に総合図書館で、北部、南部の位置づけ、蔵書量が中途半端なままと感じる。

④前回会議の委員意見に関する意見、その他の自由意見 等

なし

【その他】次回会議予定・県社会教育委員連絡協議会及び県公民館連絡協議会の令和2年度予定について

- 意見はありませんが、書面での部会しかできないまま年度最後の全体会になってしまい、申し訳なく思います。